



老翁柳首記 事三十二年

丙寅打中よりつるの記文

時より頃い延享丙寅海生上角を翁九十二歳

唐より杜子養う法比宗人生七十右兼ま

つるの園翁の齡をいふもいふ事幸ちつる

ふりこの春のいふがうの月をいふ朝文の

いふちりやうの事をも落の月凡すわわ

かまは海にさるるわをいふはる園翁を

そはしといふまにいふをいふはる

事といふいふ人あや事いふはる

かちちりやうの事をも落の月凡すわわ

四方の事いふはるわをいふはる

あはしといふまにいふをいふはる

満沙弥の情けをかきまをいふはる

舟津ちり凡共いふはるをいふはる

舟の家存りまをいふはるをいふはる

細のうまをいふはるをいふはる

しりやうをいふはるをいふはる

御用社とまつりの店れをいふはる

いふまはるをいふはるをいふはる



神樂社とまつりの席はむかしはけふも

いそぎやあはれなる舞は舞はまゝにけり

わくわくあはれなるもてはなれぬ

あやしのまの席はかまへまゝにけり

かまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

あやしのまの席はかまへまゝにけり

延享三年丙寅記之年

寛延元年辰月書



延享三年... 記之

延享三年... 記之

延享三年... 記之

延享三年 寅 記之

寛延元年 辰 寅 書

萬壽源 左 友

佐野 隆



柳 多 子 年 子 子 子 子 子 子

落 札

おちろし... 記之

若 春

若 春... 記之

月

若 春... 記之

山 家 院 麻

今 々 志 麻... 記之

此器凉山之生自署
疑居此入记简

一袖



有發者言由來及於世如我涼山之句漢末麻德公之流空其
清風之句及於世如我涼山之句漢末麻德公之流空其

中元七年四月

麻德公

記